

米国エネルギー革命関連ファンド

Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

愛称：エネルギーレボリューション

運用報告書(全体版)

第100期 (決算日2021年10月27日) 第101期 (決算日2021年11月29日) 第102期 (決算日2021年12月27日)
第103期 (決算日2022年1月27日) 第104期 (決算日2022年2月28日) 第105期 (決算日2022年3月28日)

作成対象期間 (2021年9月28日～2022年3月28日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース (為替ヘッジあり)	Bコース (為替ヘッジなし)
商品分類	追加型投信/海外/その他資産	
信託期間	2013年5月21日から2023年9月27日までです。	
運用方針	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主たる投資対象とする投資信託証券 (投資信託および外国投資信託の受益証券 (投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。)) および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。 投資する投資信託証券は、投資対象市場の動向等を勘案して適宜見直しを行ないます。 投資信託証券への投資比率には特に制限を設けず、投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
主な投資対象	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資制限	投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。	
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落						
	円		円		%	%	%	%	百万円	
76期(2019年10月28日)	4,262		20	△ 2.4	0.5	—	—	98.3	1,905	
77期(2019年11月27日)	4,046		20	△ 4.6	0.5	—	—	98.3	1,776	
78期(2019年12月27日)	4,399		20	9.2	0.5	—	—	98.3	1,891	
79期(2020年1月27日)	4,292		20	△ 2.0	0.7	—	—	98.3	1,856	
80期(2020年2月27日)	3,668		20	△14.1	0.6	—	—	98.1	1,572	
81期(2020年3月27日)	2,139		20	△41.1	0.4	—	—	97.7	926	
82期(2020年4月27日)	2,713		5	27.1	0.6	—	—	97.4	1,209	
83期(2020年5月27日)	3,133		5	15.7	0.6	—	—	98.1	1,406	
84期(2020年6月29日)	2,898		5	△ 7.3	0.6	—	—	97.8	1,294	
85期(2020年7月27日)	2,959		5	2.3	0.6	—	—	98.1	1,281	
86期(2020年8月27日)	2,925		5	△ 1.0	0.7	—	—	97.9	1,252	
87期(2020年9月28日)	2,580		5	△11.6	0.7	—	—	97.8	1,088	
88期(2020年10月27日)	2,746		5	6.6	0.6	—	—	98.0	1,140	
89期(2020年11月27日)	3,355		5	22.4	0.9	—	—	98.2	1,314	
90期(2020年12月28日)	3,313		5	△ 1.1	0.6	—	—	97.9	1,194	
91期(2021年1月27日)	3,498		5	5.7	0.8	—	—	98.0	1,237	
92期(2021年3月1日)	3,658		5	4.7	0.6	—	—	97.6	1,208	
93期(2021年3月29日)	3,994		5	9.3	0.5	—	—	97.8	1,291	
94期(2021年4月27日)	4,079		5	2.3	0.5	—	—	97.9	1,303	
95期(2021年5月27日)	4,399		5	8.0	0.5	—	—	97.8	1,336	
96期(2021年6月28日)	4,644		5	5.7	0.7	—	—	97.8	1,377	
97期(2021年7月27日)	4,476		5	△ 3.5	0.5	—	—	97.9	1,313	
98期(2021年8月27日)	4,297		5	△ 3.9	0.5	—	—	97.8	1,226	
99期(2021年9月27日)	4,521		5	5.3	0.5	—	—	98.0	1,254	
100期(2021年10月27日)	5,049		5	11.8	0.5	—	—	97.6	1,367	
101期(2021年11月29日)	4,830		5	△ 4.2	0.5	—	—	97.9	1,270	
102期(2021年12月27日)	4,663		5	△ 3.4	0.8	—	—	97.8	1,211	
103期(2022年1月27日)	5,217		5	12.0	0.5	—	—	97.8	1,309	
104期(2022年2月28日)	5,468		5	4.9	0.5	—	—	97.8	1,353	
105期(2022年3月28日)	6,048		5	10.7	0.5	—	—	97.9	1,426	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第100期	(期 首) 2021年 9月27日	円 4,521	% —	% —	% 0.5	% —	% 98.0
	9月末	4,634	2.5	—	0.5	—	98.0
	(期 末) 2021年10月27日	5,054	11.8	—	0.5	—	97.6
第101期	(期 首) 2021年10月27日	5,049	—	—	0.5	—	97.6
	10月末	5,001	△ 1.0	—	0.5	—	97.2
	(期 末) 2021年11月29日	4,835	△ 4.2	—	0.5	—	97.9
第102期	(期 首) 2021年11月29日	4,830	—	—	0.5	—	97.9
	11月末	4,756	△ 1.5	—	0.5	—	97.9
	(期 末) 2021年12月27日	4,668	△ 3.4	—	0.8	—	97.8
第103期	(期 首) 2021年12月27日	4,663	—	—	0.8	—	97.8
	12月末	4,722	1.3	—	0.5	—	97.9
	(期 末) 2022年 1月27日	5,222	12.0	—	0.5	—	97.8
第104期	(期 首) 2022年 1月27日	5,217	—	—	0.5	—	97.8
	1月末	5,257	0.8	—	0.5	—	97.8
	(期 末) 2022年 2月28日	5,473	4.9	—	0.5	—	97.8
第105期	(期 首) 2022年 2月28日	5,468	—	—	0.5	—	97.8
	(期 末) 2022年 3月28日	6,053	10.7	—	0.5	—	97.9

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 額 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
76期(2019年10月28日)	5,074		20	△ 1.4	0.4	—	98.1	17,653
77期(2019年11月27日)	4,845		20	△ 4.1	0.4	—	98.4	16,425
78期(2019年12月27日)	5,304		20	9.9	0.3	—	98.5	17,384
79期(2020年1月27日)	5,205		20	△ 1.5	0.5	—	98.3	16,757
80期(2020年2月27日)	4,489		20	△13.4	0.4	—	98.3	14,257
81期(2020年3月27日)	2,536		20	△43.1	0.3	—	98.1	8,070
82期(2020年4月27日)	3,167		5	25.1	0.5	—	98.1	10,329
83期(2020年5月27日)	3,666		5	15.9	0.4	—	98.3	11,894
84期(2020年6月29日)	3,357		5	△ 8.3	0.5	—	98.2	10,871
85期(2020年7月27日)	3,428		5	2.3	0.5	—	98.2	10,940
86期(2020年8月27日)	3,372		5	△ 1.5	0.5	—	98.1	10,616
87期(2020年9月28日)	2,948		5	△12.4	0.5	—	98.0	9,125
88期(2020年10月27日)	3,127		5	6.2	0.5	—	98.1	9,495
89期(2020年11月27日)	3,812		5	22.1	0.7	—	98.4	11,164
90期(2020年12月28日)	3,728		5	△ 2.1	0.5	—	98.2	10,100
91期(2021年1月27日)	3,957		5	6.3	0.6	—	98.1	10,385
92期(2021年3月1日)	4,224		5	6.9	0.4	—	97.9	10,801
93期(2021年3月29日)	4,755		5	12.7	0.4	—	98.1	11,692
94期(2021年4月27日)	4,788		5	0.8	0.4	—	98.0	11,502
95期(2021年5月27日)	5,216		5	9.0	0.4	—	98.0	12,094
96期(2021年6月28日)	5,605		5	7.6	0.5	—	97.6	12,604
97期(2021年7月27日)	5,374		5	△ 4.0	0.4	—	98.2	11,676
98期(2021年8月27日)	5,157		5	△ 3.9	0.4	—	98.1	11,043
99期(2021年9月27日)	5,442		5	5.6	0.4	—	98.1	11,356
100期(2021年10月27日)	6,252		5	15.0	0.3	—	97.6	12,469
101期(2021年11月29日)	5,999		5	△ 4.0	0.4	—	97.6	11,487
102期(2021年12月27日)	5,791		5	△ 3.4	0.6	—	98.1	10,818
103期(2022年1月27日)	6,466		5	11.7	0.4	—	98.0	11,683
104期(2022年2月28日)	6,846		5	6.0	0.4	—	97.9	11,845
105期(2022年3月28日)	7,960		5	16.3	0.3	—	97.8	13,106

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第100期	(期 首) 2021年 9 月27日	円 5,442	% —		% 0.4	% —	% 98.1
	9 月末	5,615	3.2		0.4	—	98.1
	(期 末) 2021年10月27日	6,257	15.0		0.3	—	97.6
第101期	(期 首) 2021年10月27日	6,252	—		0.3	—	97.6
	10 月末	6,169	△ 1.3		0.4	—	97.4
	(期 末) 2021年11月29日	6,004	△ 4.0		0.4	—	97.6
第102期	(期 首) 2021年11月29日	5,999	—		0.4	—	97.6
	11 月末	5,847	△ 2.5		0.4	—	97.9
	(期 末) 2021年12月27日	5,796	△ 3.4		0.6	—	98.1
第103期	(期 首) 2021年12月27日	5,791	—		0.6	—	98.1
	12 月末	5,898	1.8		0.4	—	97.5
	(期 末) 2022年 1 月27日	6,471	11.7		0.4	—	98.0
第104期	(期 首) 2022年 1 月27日	6,466	—		0.4	—	98.0
	1 月末	6,592	1.9		0.4	—	98.0
	(期 末) 2022年 2 月28日	6,851	6.0		0.4	—	97.9
第105期	(期 首) 2022年 2 月28日	6,846	—		0.4	—	97.9
	(期 末) 2022年 3 月28日	7,965	16.3		0.3	—	97.8

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

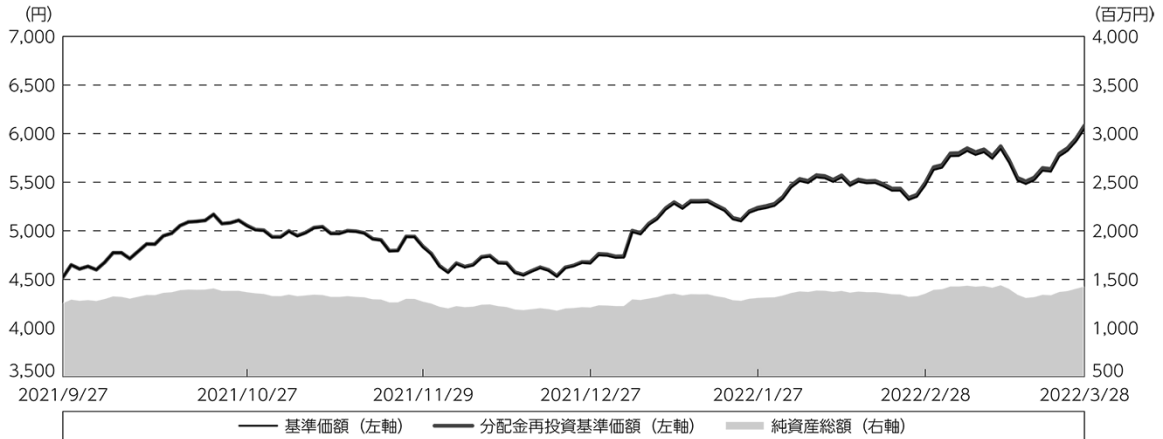
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第100期首：4,521円

第105期末：6,048円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：34.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2021年9月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）からのインカムゲイン（利息収入）

実質的に投資している、米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPからのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

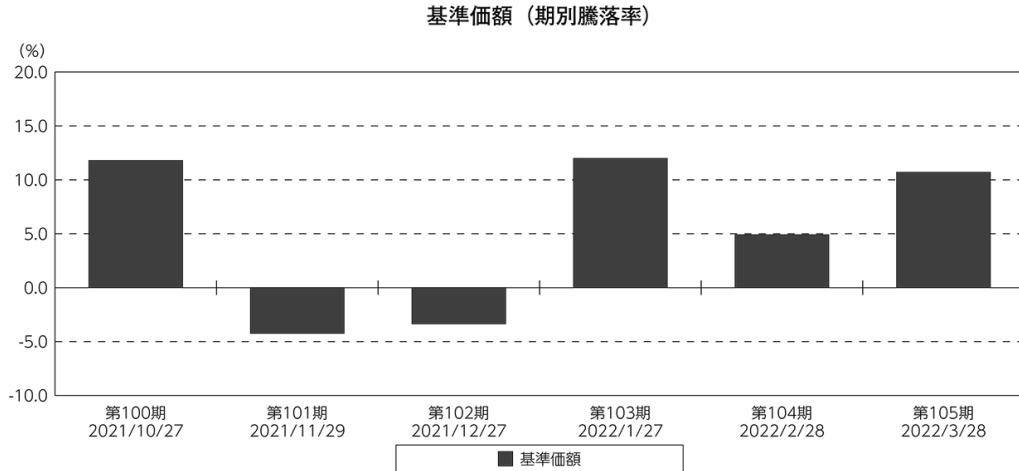
為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

◎分配金

収益分配金については、各期毎の利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2021年9月28日～ 2021年10月27日	2021年10月28日～ 2021年11月29日	2021年11月30日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月27日	2022年1月28日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2022年3月28日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.099%	5 0.103%	5 0.107%	5 0.096%	5 0.091%	5 0.083%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,222	2,238	2,254	2,273	2,292	2,312

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

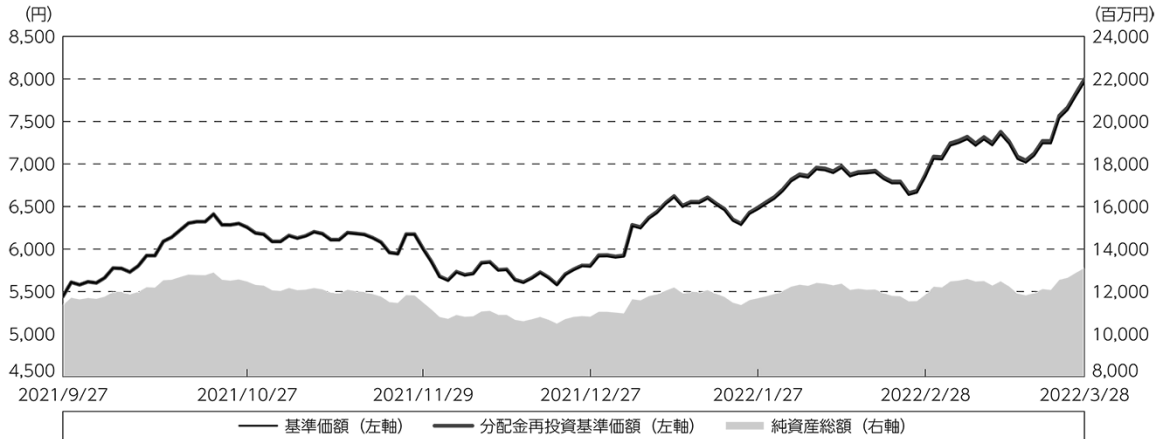
※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第100期首：5,442円

第105期末：7,960円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：46.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2021年9月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）からのインカムゲイン（利息収入）

実質的に投資している、米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPからのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

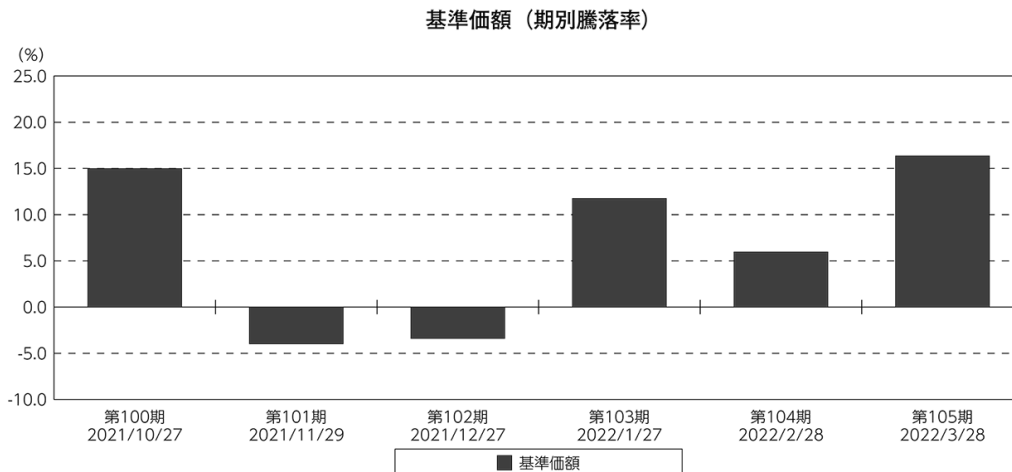
円/米ドルの為替変動

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

◎分配金

収益分配金については、各期毎の利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2021年9月28日～ 2021年10月27日	2021年10月28日～ 2021年11月29日	2021年11月30日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月27日	2022年1月28日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2022年3月28日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.080%	5 0.083%	5 0.086%	5 0.077%	5 0.073%	5 0.063%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,716	3,730	3,746	3,766	3,785	3,806

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

○投資環境

当作成期間のMLP市場は上昇しました。

当作成期間の前半は、米経済の正常化を受けたエネルギー需要回復への期待などから、原油価格が上昇基調で推移する中、MLP市場は上昇しました。しかしその後は、米政府がガソリン高対策として原油の戦略備蓄の放出に向けて動き、原油価格が下落したことなどから、MLP市場は軟調となりました。

当作成期間の半ばになり、欧州で新型コロナウイルスのオミクロン型の感染が急拡大し行動規制の強化に踏み切る国が相次ぎ、原油需要減少への懸念などから原油価格が軟調となり、MLP市場は下落しました。しかし、長期的な景気回復への期待は根強く、原油需要の先行きに対する過度の懸念が和らいだことなどから、MLP市場は上昇しました。

当作成期間の後半は、ロシアによるウクライナ侵攻を受け投資家心理が悪化したことから、MLP市場は不安定な展開となりました。当作成期末にかけては、ウクライナ紛争の長期化でロシア産原油の供給減少観測が広がり、需給逼迫懸念から原油価格が高水準で推移する中、MLP市場は底堅い動きとなりました。

為替市場の動きについては、2021年10月に米債務上限問題が先送りされたことなどから投資家心理が上向いたことや、米金融政策の正常化が意識され、米長期金利が上昇基調を強めたことを受けてドル円レートは円安・ドル高の動きが強まりました。また、2022年3月にはFOMC（米連邦公開市場委員会）がタカ派な内容（金融引き締めに積極的な内容）となったことを受け、当作成期末にかけてドル高・円安基調はさらに強まりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象としました。当運用期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] の受益証券への投資比率をおおむね高位を維持しました。

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]

高水準のインカムゲイン（配当等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とし、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。また、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用しました。

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

[米国エネルギー革命関連ファンド Bコース（為替ヘッジなし）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象としました。当運用期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] の受益証券への投資比率をおおむね高位を維持しました。

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]

高水準のインカムゲイン（配当等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とし、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

[野村マネーインカム マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

◎今後の運用方針

[米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とします。通常の場合においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] の受益証券への投資を中心とします※が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の場合においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] 受益証券への投資比率は、おおむね90%以上を目処とします。

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を目指します。また、組入資産を原則として対円で為替ヘッジを行いません。

当ファンドは、米国のエネルギー関連事業等に投資するMLPを実質的な主要投資対象とします。また、エネルギー関連事業等を行なう企業の株式等に投資を行なう場合があります。組入にあたっては、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心とする方針です。

MLP市場については、当面は不安定な展開が続く可能性があることに注意が必要です。ウクライナ情勢に関しては刻一刻と変化しているため、戦闘状況および停戦交渉の行方、ロシアに対する経済制裁の効果、エネルギー価格および世界経済への影響などの状況を確認しながら、今後の動向を冷静に注視していくことが大切と考えます。

MLP企業による2021年10-12月期の決算発表は、多くの企業が配当の引き上げを公表するなど、おおむね良好な内容となりました。これは、MLP企業が創出したキャッシュフローを積極的に株主還元を活用していることの表れであるといえます。原油価格のみならず、今後は各資産で変動性の高まりが懸念されますが、MLP市場は高い配当利回りに加え、バリュエーション（投資価値評価）面においても未だに新型コロナウイルス発生前（2019年末）と比べ割安な水準にあることから、引き続き魅力的な投資先であると考えます。

こうした環境下、当ファンドでは短期的な動向よりも中長期的なリターンの向上を目的とした安定的な運用を目指しております。足元の動向を注視しつつ、引き続きボトムアップによりファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）やバリュエーション面で魅力的な銘柄を中心にポートフォリオを維持していく方針です。

[米国エネルギー革命関連ファンド Bコース（為替ヘッジなし）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とします。通常の状態においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] の受益証券への投資を中心とします*が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状態においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] 受益証券への投資比率は、おおむね90%以上を目処とします。

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンの最大化を目指します。

当ファンドは、米国のエネルギー関連事業等に投資するMLPを実質的な主要投資対象とします。また、エネルギー関連事業等を行なう企業の株式等に投資を行なう場合があります。組入にあたっては、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心とする方針です。

MLP市場については、当面は不安定な展開が続く可能性があることに注意が必要です。ウクライナ情勢に関しては刻一刻と変化しているため、戦闘状況および停戦交渉の行方、ロシアに対する経済制裁の効果、エネルギー価格および世界経済への影響などの状況を確認しながら、今後の動向を冷静に注視していくことが大切と考えます。

MLP企業による2021年10-12月期の決算発表は、多くの企業が配当の引き上げを公表するなど、おおむね良好な内容となりました。これは、MLP企業が創出したキャッシュフローを積極的に株主還元を活用していることの表れであるといえます。原油価格のみならず、今後は各資産で変動性の高まりが懸念されますが、MLP市場は高い配当利回りに加え、バリュエーション（投資価値評価）面においても未だに新型コロナウイルス発生前（2019年末）と比べ割安な水準にあることから、引き続き魅力的な投資先であると考えます。

こうした環境下、当ファンドでは短期的な動向よりも中長期的なリターンの向上を目的とした安定的な運用を目指しております。足元の動向を注視しつつ、引き続きボトムアップによりファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）やバリュエーション面で魅力的な銘柄を中心にポートフォリオを維持していく方針です。

[野村マネーインカム マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○1万口当たりの費用明細

（2021年9月28日～2022年3月28日）

項 目	第100期～第105期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 23	% 0.455	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(8)	(0.165)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(14)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.457	
作成期間の平均基準価額は、4,973円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

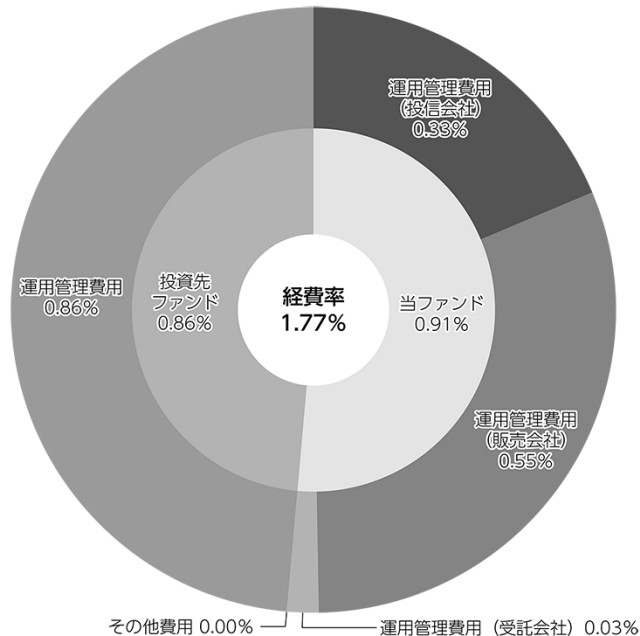
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.77%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	1.77
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○売買及び取引の状況

（2021年9月28日～2022年3月28日）

投資信託証券

銘 柄		第100期～第105期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ノムラ・セレクション・ファンド-ESエネルギー・ファンド-日本円為替ヘッジ・クラス	6,493	26,989	53,160	223,861

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2021年9月28日～2022年3月28日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2022年3月28日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第99期末		第105期末	
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
	ノムラ・セレクション・ファンド-ESエネルギー・ファンド-日本円為替ヘッジ・クラス	333,992	287,325	1,396,974	97.9
合	計	333,992	287,325	1,396,974	97.9

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄		第99期末		第105期末	
		口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
	野村マネーインカム マザーファンド	12,000	12,000	11,968	

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○投資信託財産の構成

(2022年3月28日現在)

項 目	第105期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,396,974	96.7
野村マネーインカム マザーファンド	11,968	0.8
コール・ローン等、その他	35,537	2.5
投資信託財産総額	1,444,479	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2021年10月27日現在	2021年11月29日現在	2021年12月27日現在	2022年1月27日現在	2022年2月28日現在	2022年3月28日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,382,781,963	1,276,094,289	1,215,931,864	1,318,981,267	1,363,844,662	1,444,479,360
コール・ローン等	26,748,296	20,012,001	15,325,155	26,225,937	22,099,304	28,334,650
投資信託受益証券(評価額)	1,335,156,951	1,244,109,888	1,184,034,259	1,280,784,130	1,323,773,474	1,396,974,150
野村マネーインカム マザーファンド(評価額)	11,973,600	11,972,400	11,971,200	11,971,200	11,970,000	11,968,800
未収入金	8,903,116	—	4,601,250	—	6,001,884	7,201,760
(B) 負債	15,198,123	5,323,246	4,923,899	9,796,508	10,675,999	17,945,945
未払収益分配金	1,354,340	1,315,633	1,298,410	1,254,715	1,237,272	1,179,317
未払解約金	12,833,842	2,915,504	2,771,474	7,537,067	8,351,495	15,789,801
未払信託報酬	1,006,243	1,088,131	850,908	1,001,047	1,083,267	973,243
未払利息	73	54	41	71	60	77
その他未払費用	3,625	3,924	3,066	3,608	3,905	3,507
(C) 純資産総額(A-B)	1,367,583,840	1,270,771,043	1,211,007,965	1,309,184,759	1,353,168,663	1,426,533,415
元本	2,708,681,039	2,631,266,306	2,596,820,027	2,509,431,610	2,474,545,477	2,358,635,069
次期繰越損益金	△1,341,097,199	△1,360,495,263	△1,385,812,062	△1,200,246,851	△1,121,376,814	△ 932,101,654
(D) 受益権総口数	2,708,681,039口	2,631,266,306口	2,596,820,027口	2,509,431,610口	2,474,545,477口	2,358,635,069口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,049円	4,830円	4,663円	5,217円	5,468円	6,048円

(注) 第100期首元本額は2,775,379,859円、第100～105期中追加設定元本額は108,496,975円、第100～105期中一部解約元本額は525,241,765円、1口当たり純資産額は、第100期0.5049円、第101期0.4830円、第102期0.4663円、第103期0.5217円、第104期0.5468円、第105期0.6048円です。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○損益の状況

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2021年9月28日～ 2021年10月27日	2021年10月28日～ 2021年11月29日	2021年11月30日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月27日	2022年1月28日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2022年3月28日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,474,680	6,326,530	6,269,833	6,059,377	5,959,193	5,733,546
受取配当金	6,476,342	6,328,875	6,271,183	6,061,134	5,961,148	5,735,822
支払利息	△ 1,662	△ 2,345	△ 1,350	△ 1,757	△ 1,955	△ 2,276
(B) 有価証券売買損益	137,754,224	△ 61,657,204	△ 47,214,343	134,201,624	57,694,473	132,696,460
売買益	141,498,510	653,761	748,471	139,185,307	58,887,695	134,973,563
売買損	△ 3,744,286	△ 62,310,965	△ 47,962,814	△ 4,983,683	△ 1,193,222	△ 2,277,103
(C) 信託報酬等	△ 1,009,868	△ 1,092,055	△ 853,974	△ 1,004,655	△ 1,087,172	△ 976,750
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	143,219,036	△ 56,422,729	△ 41,798,484	139,256,346	62,566,494	137,453,256
(E) 前期繰越損益金	△ 762,101,928	△ 596,754,371	△ 644,657,655	△ 660,387,383	△ 509,524,302	△ 424,520,075
(F) 追加信託差損益金	△ 720,859,967	△ 706,002,530	△ 698,057,513	△ 677,861,099	△ 673,181,734	△ 643,855,518
(配当等相当額)	(344,059,589)	(336,568,705)	(332,635,277)	(322,983,020)	(321,114,566)	(307,462,637)
(売買損益相当額)	(△1,064,919,556)	(△1,042,571,235)	(△1,030,692,790)	(△1,000,844,119)	(△ 994,296,300)	(△951,318,155)
(G) 計 (D+E+F)	△1,339,742,859	△1,359,179,630	△1,384,513,652	△1,198,992,136	△1,120,139,542	△930,922,337
(H) 収益分配金	△ 1,354,340	△ 1,315,633	△ 1,298,410	△ 1,254,715	△ 1,237,272	△ 1,179,317
次期繰越損益金 (G+H)	△1,341,097,199	△1,360,495,263	△1,385,812,062	△1,200,246,851	△1,121,376,814	△932,101,654
追加信託差損益金	△ 720,859,967	△ 706,002,530	△ 698,057,513	△ 677,861,099	△ 673,181,734	△ 643,855,518
(配当等相当額)	(344,059,588)	(336,568,750)	(332,635,288)	(322,983,025)	(321,114,563)	(307,462,633)
(売買損益相当額)	(△1,064,919,565)	(△1,042,571,280)	(△1,030,692,801)	(△1,000,844,124)	(△ 994,296,297)	(△951,318,151)
分配準備積立金	258,002,248	252,361,790	252,761,409	247,602,666	246,243,328	238,023,696
繰越損益金	△ 878,239,480	△ 906,854,523	△ 940,515,958	△ 769,988,418	△ 694,438,408	△ 526,269,832

* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2021年9月28日～2022年3月28日) は以下の通りです。

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2021年9月28日～ 2021年10月27日	2021年10月28日～ 2021年11月29日	2021年11月30日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月27日	2022年1月28日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2022年3月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	6,432,715円	5,237,792円	5,419,566円	6,018,876円	5,856,965円	5,692,713円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金相抵後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	344,059,598円	336,568,750円	332,635,288円	322,983,025円	321,114,563円	307,462,633円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	252,923,873円	248,439,631円	248,640,253円	242,838,505円	241,623,635円	233,510,300円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	603,416,186円	590,246,173円	586,695,107円	571,840,406円	568,595,163円	546,665,646円
f. 分配対象収益 (1万口当たり)	2,227円	2,243円	2,259円	2,278円	2,297円	2,317円
g. 分配金	1,354,340円	1,315,633円	1,298,410円	1,254,715円	1,237,272円	1,179,317円
h. 分配金 (1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○分配金のお知らせ

	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年9月28日～2022年3月28日）

項 目	第100期～第105期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 28	% 0.455	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(10)	(0.165)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(17)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	28	0.457	
作成期間の平均基準価額は、6,161円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

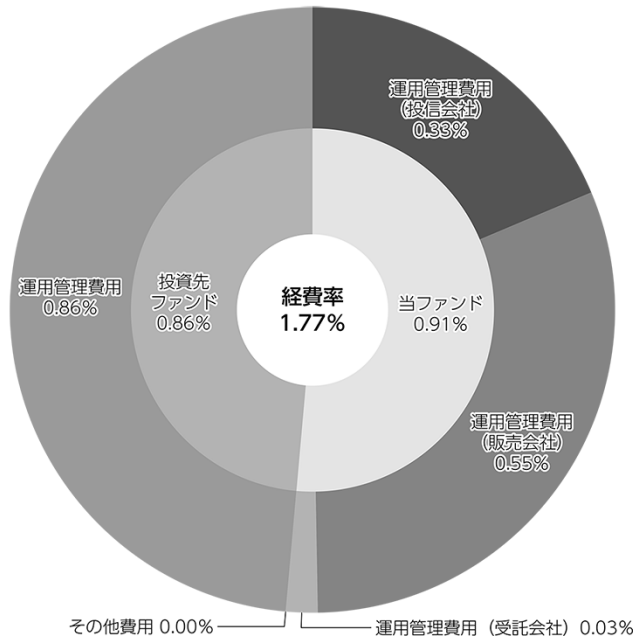
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.77%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	1.77
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○売買及び取引の状況

（2021年9月28日～2022年3月28日）

投資信託証券

銘		柄		第100期～第105期							
				買		付		売		付	
				口	数	金	額	口	数	金	額
国内											
				口	千円	口	千円	口	千円	口	千円
				8,209	43,795	530,916	2,787,936				

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2021年9月28日～2022年3月28日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2022年3月28日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘		柄		第99期末		第105期末		
				口	数	口	数	評 価 額
				口	口	千円		%
				2,511,141	1,988,434	12,819,433		97.8
		合	計	2,511,141	1,988,434	12,819,433		97.8

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘		柄		第99期末		第105期末	
				口	数	口	数
				千口	千口	千円	
				80,000	80,000	79,792	

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○投資信託財産の構成

（2022年3月28日現在）

項 目	第105期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	12,819,433	96.4
野村マネーインカム マザーファンド	79,792	0.6
コール・ローン等、その他	405,167	3.0
投資信託財産総額	13,304,392	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2021年10月27日現在	2021年11月29日現在	2021年12月27日現在	2022年1月27日現在	2022年2月28日現在	2022年3月28日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	12,671,047,093	11,610,169,147	10,924,735,697	11,811,154,891	11,962,767,045	13,304,392,103
コール・ローン等	388,829,665	162,341,374	165,281,663	277,572,272	190,736,535	275,258,535
投資信託受益証券(評価額)	12,167,091,028	11,216,305,049	10,612,045,874	11,453,774,619	11,601,325,080	12,819,433,998
野村マネーインカム マザーファンド(評価額)	79,824,000	79,816,000	79,808,000	79,808,000	79,800,000	79,792,000
未収入金	35,302,400	151,706,724	67,600,160	-	90,905,430	129,907,570
(B) 負債	201,099,468	122,418,527	105,968,567	127,248,432	117,348,364	197,525,748
未払収益分配金	9,972,532	9,574,122	9,340,617	9,035,031	8,650,985	8,233,099
未払解約金	181,928,437	102,925,098	88,999,634	109,206,262	99,043,310	180,610,119
未払信託報酬	9,164,320	9,883,150	7,600,403	8,973,953	9,618,792	8,650,520
未払利息	1,065	444	452	760	522	754
その他未払費用	33,114	35,713	27,461	32,426	34,755	31,256
(C) 純資産総額(A-B)	12,469,947,625	11,487,750,620	10,818,767,130	11,683,906,459	11,845,418,681	13,106,866,355
元本	19,945,065,192	19,148,245,125	18,681,235,830	18,070,063,229	17,301,970,017	16,466,198,017
次期繰越損益金	△ 7,475,117,567	△ 7,660,494,505	△ 7,862,468,700	△ 6,386,156,770	△ 5,456,551,336	△ 3,359,331,662
(D) 受益権総口数	19,945,065,192口	19,148,245,125口	18,681,235,830口	18,070,063,229口	17,301,970,017口	16,466,198,017口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,252円	5,999円	5,791円	6,466円	6,846円	7,960円

(注) 第100期首元本額は20,869,351,293円、第100～105期中追加設定元本額は1,455,941,133円、第100～105期中一部解約元本額は5,859,094,409円、1口当たり純資産額は、第100期0.6252円、第101期0.5999円、第102期0.5791円、第103期0.6466円、第104期0.6846円、第105期0.7960円です。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○損益の状況

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2021年9月28日～ 2021年10月27日	2021年10月28日～ 2021年11月29日	2021年11月30日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月27日	2022年1月28日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2022年3月28日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	47,432,337	46,116,660	45,057,546	43,188,790	41,689,698	39,722,435
受取配当金	47,450,805	46,137,185	45,071,847	43,207,356	41,709,968	39,744,914
支払利息	△ 18,468	△ 20,525	△ 14,301	△ 18,566	△ 20,270	△ 22,479
(B) 有価証券売買損益	1,563,567,285	△ 511,129,889	△ 415,115,907	1,175,671,786	627,008,824	1,794,249,198
売買益	1,641,954,029	12,387,443	14,704,912	1,225,731,919	659,035,391	1,844,711,722
売買損	△ 78,386,744	△ 523,517,332	△ 429,820,819	△ 50,060,133	△ 32,026,567	△ 50,462,524
(C) 信託報酬等	△ 9,197,434	△ 9,918,863	△ 7,627,864	△ 9,006,379	△ 9,653,547	△ 8,681,776
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	1,601,802,188	△ 474,932,092	△ 377,686,225	1,209,854,197	659,044,975	1,825,289,857
(E) 前期繰越損益金	△5,856,048,816	△4,060,913,501	△4,403,987,956	△4,567,135,075	△3,187,099,711	△2,354,365,026
(F) 追加信託差損益金	△3,210,898,407	△3,115,074,790	△3,071,453,902	△3,019,840,861	△2,919,845,615	△2,822,023,394
(配当等相当額)	(4,220,924,628)	(4,075,779,529)	(3,996,446,443)	(3,907,378,639)	(3,771,220,389)	(3,652,537,282)
(売買損益相当額)	(△7,431,823,035)	(△7,190,854,319)	(△7,067,900,345)	(△6,927,219,500)	(△6,691,066,004)	(△6,474,560,676)
(G) 計 (D+E+F)	△7,465,145,035	△7,650,920,383	△7,853,128,083	△6,377,121,739	△5,447,900,351	△3,351,098,563
(H) 収益分配金	△ 9,972,532	△ 9,574,122	△ 9,340,617	△ 9,035,031	△ 8,650,985	△ 8,233,099
次期繰越損益金 (G+H)	△7,475,117,567	△7,660,494,505	△7,862,468,700	△6,386,156,770	△5,456,551,336	△3,359,331,662
追加信託差損益金	△3,210,898,407	△3,115,074,790	△3,071,453,902	△3,019,840,861	△2,919,845,615	△2,822,023,394
(配当等相当額)	(4,220,924,665)	(4,075,779,961)	(3,996,446,548)	(3,907,378,775)	(3,771,220,341)	(3,652,537,256)
(売買損益相当額)	(△7,431,823,072)	(△7,190,854,751)	(△7,067,900,450)	(△6,927,219,636)	(△6,691,065,956)	(△6,474,560,650)
分配準備積立金	3,190,909,462	3,068,296,673	3,002,568,967	2,898,000,895	2,778,971,239	2,614,757,505
繰越損益金	△7,455,128,622	△7,613,716,388	△7,793,583,765	△6,264,316,804	△5,315,676,960	△3,152,065,773

* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2021年9月28日～2022年3月28日) は以下の通りです。

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2021年9月28日～ 2021年10月27日	2021年10月28日～ 2021年11月29日	2021年11月30日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月27日	2022年1月28日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2022年3月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	47,183,123円	36,219,637円	37,454,194円	42,889,328円	41,085,237円	39,531,400円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金相抵後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,220,924,665円	4,075,779,961円	3,996,446,548円	3,907,378,775円	3,771,220,341円	3,652,537,256円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	3,153,698,871円	3,041,651,158円	2,974,455,390円	2,864,146,598円	2,746,536,987円	2,583,459,204円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,421,806,659円	7,153,650,756円	7,008,356,132円	6,814,414,701円	6,558,842,565円	6,275,527,860円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,721円	3,735円	3,751円	3,771円	3,790円	3,811円
g. 分配金	9,972,532円	9,574,122円	9,340,617円	9,035,031円	8,650,985円	8,233,099円
h. 分配金(1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○分配金のお知らせ

	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンド (日本円為替ヘッジ・クラス、日本円クラス)

2021年1月31日決算

(計算期間:2020年2月1日～2021年1月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運 用 方 針	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
投 資 対 象	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とします。
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投 資 顧 問 会 社	野村アセットマネジメント株式会社
副 投 資 顧 問 会 社	クリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー
管 理 事 務 代 行 会 社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書

2021年1月31日に終了する計測期間
(米ドル)

収益

銀行口座利息	86,186
受取配当金等(源泉徴収税控除後)	9,737,202
雑収益	10,184,331
	<hr/>
収益合計	20,007,719

費用

投資顧問報酬	909,341
管理費用	124,445
保管費用	37,650
雑費用	351,498
取引銀行報酬	4,395
受託報酬	24,913
法務報酬	2,161
立替費用	12,441
専門家報酬	37,525
	<hr/>
費用合計	1,504,369

純投資損益

	18,503,350
	<hr/>
投資有価証券売買に係る損益	(28,392,351)
外国通貨に係る損益	952,406
	<hr/>
当期実現純損益	(27,439,945)
	<hr/>
投資有価証券評価差損益	(20,211,918)
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	(234,768)
	<hr/>
当期評価差損益	(20,446,686)
	<hr/>
運用の結果による純資産の増減額	(29,383,281)

組入資産明細
2021年1月31日現在
(米ドル)

	数量	銘柄	評価額	純資産比率(%)
		カナダ		
普通株	201,570	ENBRIDGE INC	6,772,752	5.63
	109,400	TC ENERGY CORP	4,696,542	3.90
			<u>11,469,294</u>	<u>9.53</u>
		カナダ計	<u>11,469,294</u>	<u>9.53</u>
		アメリカ		
合資会社	488,832	ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS LP	9,889,071	8.21
	191,304	MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS LP	8,505,376	7.07
	363,384	MPLX LP	8,397,804	6.98
	922,697	PLAINS ALL AMER LP	7,722,974	6.42
	169,557	CHENIERE ENERGY PARTNERS LP	6,636,461	5.51
	445,420	BP MIDSTREAM PARTNERS LP	5,193,597	4.32
	721,469	ENERGY TRANSFER LP	4,523,611	3.76
	275,022	WESTERN MIDSTREA LP	4,051,074	3.37
	202,099	DCP MIDSTREAM LP	4,041,980	3.36
	284,966	SHELL MIDSTREAM PARTNERS LP	3,288,508	2.73
	543,620	ENABLE MIDSTREAM PARTNERS LP	2,892,058	2.40
	392,843	GENESIS ENERGY LP	2,447,412	2.03
	224,370	RATTLER MIDSTREA LP	2,144,977	1.78
	111,623	HOLLY ENERGY PARTNERS LP	1,625,231	1.35
	140,000	NOBLE MIDSTREAM LP	1,619,800	1.35
	95,490	PBF LOGISTICS LP	953,945	0.79
			<u>73,933,879</u>	<u>61.43</u>
普通株	486,940	WILLIAMS COS INC	10,337,736	8.59
	571,500	KINDER MORGAN INC	8,046,720	6.69
	195,200	ONEOK INC	7,774,816	6.46
	199,300	TARGA RESOURCES CORP	5,454,841	4.53
	499,395	ANTERO MIDSTREAM	4,045,100	3.36
	195,496	EQUITRANS MIDSTR	1,300,048	1.08
			<u>36,959,261</u>	<u>30.71</u>
		アメリカ計	<u>110,893,140</u>	<u>92.14</u>
		組入資産合計	<u>122,362,434</u>	<u>101.67</u>

外国為替先渡し契約

2021年1月31日現在

通貨(買い)		通貨(売り)		満期日	未実現損益(米ドル)
USD	12,643	JPY	1,300,000	February 10, 2021	218
USD	14,504	JPY	1,500,000	February 25, 2021	165
USD	14,501	JPY	1,500,000	February 10, 2021	164
USD	22,147	JPY	2,300,000	February 10, 2021	164
USD	8,755	JPY	900,000	February 10, 2021	153
USD	20,358	JPY	2,116,180	February 10, 2021	132
USD	20,203	JPY	2,100,000	February 10, 2021	131
USD	9,156	JPY	950,000	February 25, 2021	75
USD	9,154	JPY	950,000	February 10, 2021	74
USD	11,539	JPY	1,200,000	February 10, 2021	70
USD	6,746	JPY	700,000	February 25, 2021	55
USD	6,745	JPY	700,000	February 10, 2021	55
USD	6,264	JPY	650,000	February 25, 2021	51
USD	6,263	JPY	650,000	February 10, 2021	51
USD	1,945	JPY	200,000	February 10, 2021	34
USD	9,113	JPY	950,000	February 10, 2021	33
USD	4,840	JPY	503,150	February 10, 2021	31
USD	2,888	JPY	300,000	February 10, 2021	21
USD	2,409	JPY	250,000	February 25, 2021	20
USD	2,409	JPY	250,000	February 10, 2021	19
USD	1,929	JPY	200,000	February 25, 2021	18
USD	1,929	JPY	200,000	February 10, 2021	18
USD	2,404	JPY	250,000	February 25, 2021	14
USD	2,403	JPY	250,000	February 10, 2021	14
JPY	85,417,883	USD	824,386	February 10, 2021	(7,958)
JPY	85,404,655	USD	824,386	February 25, 2021	(7,976)
USD	723,761	JPY	75,498,789	February 25, 2021	2,045
USD	723,761	JPY	75,509,539	February 10, 2021	2,038
JPY	1,350,000	USD	13,029	February 10, 2021	(126)
JPY	1,350,000	USD	13,031	February 25, 2021	(127)
JPY	719,215,325	USD	6,940,528	February 25, 2021	(65,320)
JPY	730,231,661	USD	7,110,529	February 10, 2021	(130,940)
					<hr/>
					(206,584)

野村マネーインカム マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日2022年3月28日）

作成対象期間（2021年3月30日～2022年3月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	中率			
5期(2018年3月27日)	円 10,005		% △0.1	% 9.8	% -	百万円 92
6期(2019年3月27日)	9,996		△0.1	54.6	-	91
7期(2020年3月27日)	9,989		△0.1	31.6	-	91
8期(2021年3月29日)	9,982		△0.1	54.8	-	91
9期(2022年3月28日)	9,974		△0.1	54.5	-	91

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

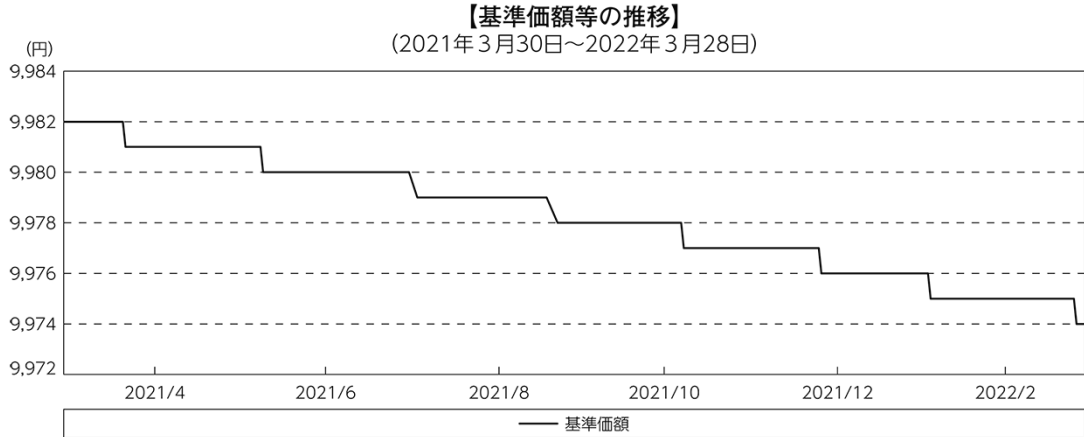
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2021年3月29日	円 9,982		% -	% 54.8	% -
3月末	9,982		0.0	54.8	-
4月末	9,981		△0.0	54.7	-
5月末	9,981		△0.0	54.7	-
6月末	9,980		△0.0	54.7	-
7月末	9,980		△0.0	54.6	-
8月末	9,979		△0.0	54.6	-
9月末	9,978		△0.0	54.6	-
10月末	9,978		△0.0	54.5	-
11月末	9,977		△0.1	54.5	-
12月末	9,976		△0.1	54.5	-
2022年1月末	9,976		△0.1	54.5	-
2月末	9,975		△0.1	54.5	-
(期末) 2022年3月28日	9,974		△0.1	54.5	-

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつある中で、消費や生産、雇用環境などには持ち直しの動きが見られました。このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2021年12月には、2022年3月末が期限となっていた「新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラム」について中小企業向けに部分的な延長を決定しました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、期を通して-0.1%前後で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は0～-0.05%程度で推移しました。

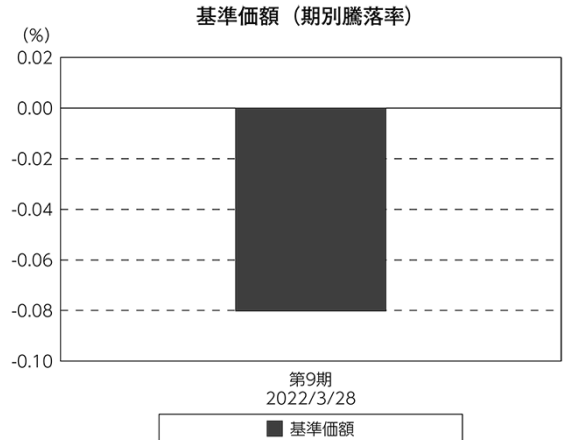
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2021年3月30日～2022年3月28日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年3月30日～2022年3月28日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 760,361	千円 760,358
	特殊債券	50,013	— (50,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

*()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月30日～2022年3月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年3月28日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
特殊債券 (除く金融債)	50,000 (50,000)	50,007 (50,007)	54.5 (54.5)	— (—)	— (—)	— (—)	54.5 (54.5)
合 計	50,000 (50,000)	50,007 (50,007)	54.5 (54.5)	— (—)	— (—)	— (—)	54.5 (54.5)

*()内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期		評 価 額	償 還 年 月 日
		額 面 金 額	金 額		
特殊債券(除く金融債)	%		千円	千円	
政保 地方公共団体金融機構債券(6年) 第18回	0.001	30,000		30,004	2022/5/30
原子力損害賠償・廃炉等支援機構債券 政府保証第11回	0.001	20,000		20,002	2022/5/20
合 計			50,000	50,007	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年3月28日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 50,007	% 54.5
コール・ローン等、その他	41,777	45.5
投資信託財産総額	91,784	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	91,784,863
コール・ローン等	41,777,280
公社債(評価額)	50,007,510
前払費用	73
(B) 負債	114
未払利息	114
(C) 純資産総額(A-B)	91,784,749
元本	92,019,992
次期繰越損益金	△ 235,243
(D) 受益権総口数	92,019,992口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,974円

(注) 期首元本額は92,019,992円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は0.9974円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・米国エネルギー革命関連ファンド Bコース(為替ヘッジなし) 80,000,000円
・米国エネルギー革命関連ファンド Aコース(為替ヘッジあり) 12,000,000円
・米国エネルギー革命関連ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジあり 9,996円
・米国エネルギー革命関連ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジなし 9,996円

○損益の状況 (2021年3月30日~2022年3月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	235,919
受取利息	274,213
支払利息	△ 38,294
(B) 有価証券売買損益	△304,313
売買損	△304,313
(C) 当期損益金(A+B)	△ 68,394
(D) 前期繰越損益金	△166,849
(E) 計(C+D)	△235,243
次期繰越損益金(E)	△235,243

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

○お知らせ

該当事項はございません。